

転送メッセージ

日付: 2012年1月13日 13:20
 件名: 第11回徳川宗賢賞(優秀賞)授賞通知

第11回徳川宗賢賞(優秀賞)授賞通知

中東 靖恵様

さて、2010年11月20日に開催されました
 2011年度徳川宗賢賞選考会は、あなたの以下の論文に徳川宗賢賞優秀賞を授賞することとしました。同日
 の同委員会、およびその後の社会言語科学会理事会で授賞が承認されましたので、お知らせいたします。
 おめでとうございます。

「パラグアイ日系社会におけるアクセントの継承と変容—パラグアイの広島県人家族を対象に—」『社会言語科学』第13巻 第2号 72頁～87頁

授賞理由

本論文は、パラグアイに住む広島県からの移住者たちのアクセントを調査したものである。調査の結果として、世代的な変動がとらえられ、多くは若い世代が共通語・東京語アクセントに変化している。しかし、そうではない変化も一部に見られ、それは日本国内の広島市に見られる変化の方向と同一であった。

従来、日本語のアクセントの研究は、日本国内を主たる地域として行われてきた。海外でこういう研究が行われたというのは、新しい研究領域を切り開くものであり、研究としての価値が極めて高いものであるといえよう。

本論文を読むと、過去のアクセント研究や移住と言語変容研究を踏まえて調査が企画されており、項目の選び方や調査の方法など、細かいところまで目が行き届いている。調査結果を集計・分析する際にも、従来の知見を活かしつつ、妥当な方法で丁寧にデータを扱っている。

特に、広島方言においてアクセント変動が見られる語は、パラグアイでも同様の変動が見られるという並行性の発見は驚くべきことである。

この研究は、従来のアクセント研究や移住と言語変容研究に大きな進歩をもたらすものであるとともに、パラグアイに住む日系人たちにとっても重要な意味を持っており、日本語を保持すべきか、スペイン語へとシフトすべきかを初めとする現地でのライフスタイルを考える上でも示唆するところが多い。

広島からパラグアイへの移住者を対象に、新しい研究領域を切り開いたことは、社会言語科学の分野に対する大きな貢献であり、徳川宗賢賞優秀賞に値するものである。



徳川宗賢賞について

これまでの受賞者

徳川宗賢賞基金への寄付
 のお願い

徳川宗賢賞選考委員会



ホーム 学会の活動 徳川宗賢賞

徳川宗賢賞

徳川宗賢賞について

社会言語科学会は、故徳川宗賢初代会長(1999年6月逝去)の業績と本学会設立に傾けた情熱と精神をたたえ、2000年度より「徳川宗賢賞」を設立しました。この賞は、毎年本学会誌『社会言語科学』に掲載された論文の中から、とくに優れた論文に授与されるものです。質の高い優れた論文が多く投稿されることを期待しています。

制定 2000年9月9日
 改訂 2004年9月4日

1. 賞の種類と名称

「徳川宗賢賞」『社会言語科学』掲載論文に対して各年度原則2本
 副賞10万円

2. 選考の基準

本学会の理念に沿った優れた論文に授与されるが、とくに以下の点を優先的に考慮する

1. トランスディシプリナリーな(超領域)研究に資するもの
 2. ウェルフェアリングイスティックス(社会の福利に資する言語・コミュニケーションの研究)の精神に則っているもの
- なお、上記の点を満たす総合的に優れた論文(優秀賞)、将来の研究発展の期待できる萌芽的研究による論文(萌芽賞)を受賞論文とする。

3. 賞の対象

原則として『社会言語科学』に掲載されたすべての論文

4. 選考機関

徳川宗賢賞選考委員会が、徳川宗賢賞の選考を行なう。

5. 表彰

選考結果を受け、理事会での承認を経、その後の直近の学会大会時に開催される総会にて表彰式を行なう。賞状および副賞(賞金)を贈り、これを顕彰する。
 (なお、本賞の規程については、学会理事会にて改訂を行なう。)

このページのTopへ ▲

第29回社会言語科学会研究大会プログラム

Program of the 29th Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

同プログラムのタイトル、発表者情報は、発表申込の情報にそってあります。
お気づきの点がございましたら至急研究大会ヘルプデスクまでご連絡下さい。
口頭発表1件が中止となりました(2012.1.16)。

●プログラム

第1日目 3月10日(土)

- 9:30— 受付開始[明々館エントランスロビー]
- 10:00— 開会
- 10:00—12:15 研究発表(口頭発表)[明々館]
[セッション1](#)[明々館3階A307]
[セッション2](#)[明々館3階A308]
[セッション3](#)[明々館3階A309]
[セッション4](#)[明々館4階A407]
- 12:15—13:15 昼休み(理事会)
- 13:15—13:20 開催ご挨拶[太平館2階A200レクチャーホール]
- 13:20—14:50 招待講演[太平館2階A200レクチャーホール]
 感性言語としての日本語の特質とその世界に対する貢献の可能性について
 講演者: 鈴木 孝夫(慶應義塾大学名誉教授)
 司会: 井上 逸兵(慶應義塾大学)
- 14:50—15:05 大会発表賞受賞式[太平館2階A200レクチャーホール]
 否定疑問文を使用した評価への抵抗: 文法と連鎖位置の接点
 杉浦 秀行(茨城大学/オークランド大学)
- 授業後の会話における学生同士の情報共有
 ー情報提供と「伝聞」の関わりー
 田中 真衣(大阪大学)
- 15:05—15:15 休憩
- 15:15—17:45 [ワークショップ1](#)[太平館2階A201]
[ワークショップ2](#)[太平館2階A202]
- 18:10— 懇親会[崇貞館1階桜カフェ(大学食堂)]

第2日目 3月11日(日)

- 9:30— 受付開始[明々館エントランスロビー]
- 10:00—11:15 研究発表([ポスター発表セッション1](#))[太平館1階A100学生ラウンジ]
- 11:15—12:30 研究発表([ポスター発表セッション2](#))[太平館1階A100学生ラウンジ]
- 12:30—13:30 昼休み(各委員会)
- 13:30—14:45 徳川賞授与式及び記念講演[太平館2階A200レクチャーホール]
 <優秀賞>
 法廷談話実践と法廷通訳
 ー語用とメタ語用の織り成すテクスー
 吉田 理加(立教大学)
- パラグアイ日系社会におけるアクセントの継承と変容
 ーパラグアイの広島県人家族を対象にー
 中東 靖恵(岡山大学)

第29回社会言語科学会研究大会のお知らせ

社会言語科学会の第29回大会は、以下の予定で行われます。

日時: 2012年3月10日(土)・11日(日)

場所: [桜美林大学\(町田キャンパス\)](#)
 〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
 TEL: 042-797-2661(代表)

交通: ○JR 横浜線湘野駅北口よりスクールバス、路線バス(約8分)
 ○JR 横浜線、小田急線町田駅より路線バス(約25~30分)
 ○京王線、小田急線、多摩モノレール多摩センター駅よりスクールバス(約20分)
 ※日曜日にスクールバスの運行はありませんので、ご注意ください。

●手話通訳について

- 招待講演、ワークショップ、研究発表には、ご希望により手話通訳をおつけいたします。ご希望の方は、ご希望のセッションを添えて、大会ヘルプデスクにお申し出ください。お問い合わせ先: 大会ヘルプデスク jass-desk@bunken.co.jp

●宿泊の手配

- 京王観光株式会社 神奈川北支店
 町田営業所
 〒194-0294
 東京都町田市常盤町3758
 桜美林大学 清友会館1F ファミリーマート内
 TEL: 042-798-5030
 FAX: 042-798-5031
 内線: 4147
 e-mail: tabikeio@obirin.ac.jp

●事前参加申込み

- 事前申し込みはこちらからお手続き下さい。**
- 当日より、大会参加費(発表論文集1冊を含む)、懇親会費がお得になっております。
- 事前参加申込み、事前振込共に2012年2月27日(月)24時が締切となっております。
- お支払い方法は、クレジット決済または郵便振替をお選びいただけます。

●懇親会参加のお誘い

- 楽しく有意義な会にしたいと考えております。みなさまのご参加をお待ちしております。

●2冊以上の発表論文集をご注文の方へ

- 大会に参加される方(事前参加申込み、当日参加申込みの方)
 参加費に発表論文集1冊が含まれておりますが、さらに発表論文集をご購入いただくことができます。
- 大会時 追加論文集購入: 1,000円/1冊
- 大会終了後
 発表論文集は、大会終了後は、余部がある場合にのみ販売いたします。
 大会後~1年間: 2,000円/1冊(送料別)
 1年後~: 500円/1冊(送料別)